

夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

自分の可能性を見つける

機械CADシステムコース I・Kさん (29歳 男性)

大学卒業後、2年ほどの短期のアルバイトを経て、祖父母が認知症になったため、介護の勉強をして、4年ほど介護しました。

祖父母が亡くなったため、就職を考え、サポートセンターへ。西部総合職業技術校を紹介され、就職することができました。

高校や大学を卒業し、何も出来ない・やりたいことが見つからない人たちへの、メッセージです。

私が西部総合職業技術校を知ったきっかけは、県央地域若者サポートステーションの相談員に勧められたのが最初でした。

まず、技術校にはどんなコースがあるか、どんなことをしているかをパンフレットで確認し、オープンキャンパスに行くことになりました。

オープンキャンパスの様々なコースを見た中で、機械CADシステムコースを見学し、そこで就職に向けて努力している生徒さんや実際に授業しているO先生の話聞いて、自分の意思で入校試験を受けることを決めました。

その際の面接試験では、パソコンで製作した図面を立体物にして

説明できるようなこと、不得手なことに挑戦したいことを伝え、入校の機会をいただくことができました。

技術校に入校して私は初めての専門的知識、就職活動のためのマナーに触れ、一見しただけではわからない内容に圧倒されましたが、同時に、新しいことに興味や関心を強く持つようになりました。授業でわからないことは、O先生・Oさん・N先生に聞き知識の量を増やしていきました。元々技術校に入る前はパソコン操作が不得手でしたが多少慣れてきており、同コースの生徒とも授業の話しをするようになりました。図面の製作や寸法記入法等覚えることは多いですが、やるうちに楽しくなってきます。

時がたち、授業に慣れた頃に来たのが就職活動です。面接の練習や履歴書を書く中で、自分の長所を書くのが苦手で、いろいろ考えコースの先生方だけでなく、入校・就職支援課のN先生にも相談した。特に入校・就職支援課の先生には、事あるごとに企業のことでも相談に行きました。その後、行きたい企業に応募し、面接の機会をいただき、無事内定をいただくことができました。

技術校で過ごした九ヶ月（就職による途中退校）は、機械CADコース内で最底辺（パソコンなどの知識）レベルだった自分が練習や訓練することで、出来ないからやれば出来るになり、就職につながりました。

最後に高校や大学を出て、何も出来ない・やりたいことが見つからないと諦めないで、技術校で物事に挑戦していくことをお勧めします。